

「開発と政治・紛争—新しい視角」(仮)

国際社会が抱える課題の中でも、開発と政治・紛争が相互に絡む問題は、最も重要な国際的課題の1つである。そもそも開発は経済的な側面に限定されるものではなく、政治体制や社会制度、紛争や安定といった政治社会的な側面も含む包括的な課題である。従って、その分析に際しても、政治学・社会学・経済学等を横断する学際的なアプローチが不可欠である。たとえば、経済開発と政治体制の関連、経済成長と紛争の関係、紛争後の国家建設における経済復興・正統的な政府づくり・治安維持の包括的側面など、開発・政治・紛争の間には複雑で密接な関係があることは推測されながらも、その相互関係についてはさまざまな議論がある。また、その分析に際しては、世界各地域の様々な事例を横断的に比較する視角も不可欠である。

こうした学際的・地域横断的な研究は、他の関連学会でも議論されてきてはいるが、近年(とりわけ冷戦後の過去20年間)の国際的状況の変化を踏まえた議論の進展はきわめて急速であり、実証研究を更に積み重ねていく必要もある一方で、横断的な検討・分析の中で新たな理論的整理をする必要性も高い。日本国際政治学会は、関連学会とも関係を持ちながら、地域研究、比較政治、開発論、紛争論などさまざまな視角を持つ研究を統合できる場であり、学際的なアプローチで地域を超えた比較研究をとりまとめる最も良い場であると考えられる。

『国際政治』の本特集号では、上記のテーマに関する国際政治学・国際関係論をベースとする理論的分析から、地域研究・比較政治の観点に基づく実証研究まで、幅広いテーマの論文を募集する。とりわけ、近年の「平和構築」や紛争後の「国家建設」の様々な経験や、「ガバナンス」論や「脆弱国家」論などの研究の進展を踏まえて、さらに新しい視点を提示したり、学際的な問題状況・課題を整理したり、あるいは具体的なエビデンスを提示・分析するような、チャレンジングな論文を期待している。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと要旨を600~800字程度にまとめ、自宅および勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレス(必要に応じて、出張や休暇中の連絡先を含む)を明記した上で、2010年7月30日(期限厳守)までに下記の編集責任者にメールでお送りください。

テーマとの関係、本特集号の全体構成などを総合的に検討した上で、執筆をお願いする方には2010年8月25日までにご連絡いたします。なお、論文の提出の最終締切は2011年2月28日、論文の分量は注を含めて2万字以内とします。また、最終的な掲載の可否は論文提出後に査読を行った上で決定しますので、この点を含めてご了承ください。

執筆要領については学会ホームページをご参照ください。要領を遵守してのご執筆をお願いします。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jair/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お申込みやお問い合わせは、以下の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 稲田十一

《連絡先》 〒227-0038

神奈川県横浜市青葉区奈良 5-33-13

電話・FAX : 045-961-3791 (自宅)

Email : inadajuuichi★aol.com

(★を@に変換してください)